

新年明けましておめでとうございます。

いつも私どもの活動にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。今日は、皆様に2つご報告があります。

一つ目は、現在、建設中の新園舎についてです。昨年中、雨の日が多かったこともあり、工事が思うように進まず、当初予定していた今月末までの工期が2月末に変更されました。工事現場では、短いお正月休みを終え、すでに昨日から関係する方々が仕事を再開くださっています。工期が延長されたとはいえ、皆さんが必死に「期限内に」そして、「いいものを」との想いで造ってくださっているのを感じています。大変ありがたいことです。きっと、素晴らしい園舎になると楽しみにしています。

新園舎完成から4月1日のオープンまで1か月弱しかありませんので、準備に大忙しになるとは思いますが、保護者の皆様にも、どこかのタイミングでお披露目する機会を持ちたいと考えておりますので、楽しみにお待ちしております。

次に新規事業についてご報告いたします。今年度（令和3年度）に入り、児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所「こどもの森 うらここ」を4月に開設。また、「ロボットプログラミング教室」を浦河町につづき、新ひだか町でもスタートすることができました。

そして、この度、東京都世田谷区で認可外保育園の運営を担うことになりました。2年前に開設し経営難に陥っていた保育園です。園存続に向け短期間のうちに経営を引き継ぐ必要があったため、少し遅いタイミングでのご報告になりましたが、1月1日をもって本法人が運営者となり、名称を「メグハウス」として新たなスタートを切りました。

私自身が同じ世田谷区で生まれ育ち、先代の理事長、母の伊原恵と「いつか故郷で幼児教育をやりたいね」とよく話していましたので、不思議な縁を感じています。北海道との縁ができる以前の40数年前、母が自宅の一部を改装して保育園をつくったのが私ども（釧路の姉妹法人を含めて）の原点です。そして、その保育園の名前が「メグハウス」でした。

浦河とは大きく異なる環境に「メグハウス」はありますが、やるべきことは同じです。「子ども第一主義」のもと、運営していきたいと思えます。そして、「都市型森のようちえん」として、近隣の公園などを利用して自然体験を大切にしたい保育を行っていく予定です。将来は、浦河と東京の子ども達の交流なども生まれるといいなと考えています。

ご報告は以上となります。今年もどうぞよろしく願いいたします。子ども達の幸せのため、職員一同力を合わせてまいります。

令和4年1月5日

学校法人フレンド恵学園
理事長 伊原 鎮（いはら やすし）